



境 瑞貴

Freedom Through Knowledge ~旅の途中~

撮影テーマ

今日も子どもたちはあの土地で生きている

最近のエントリー

- ▶ Petaling Jayaなーう (2013.05.31)
- ▶ ポルネオ島 (2013.05.23)
- ▶ 六カ国目 (2013.05.18)

アーカイブ

- ▶ 2014年01月
- ▶ 2013年12月
- ▶ 2013年11月
- ▶ 2013年10月
- ▶ 2013年09月
- ▶ 2013年08月
- ▶ 2013年07月
- ▶ 2013年06月
- ▶ 2013年05月
- ▶ 2013年04月
- ▶ 2013年03月

投稿カレンダー

カテゴリー

- ▶ インド/India
- ▶ カンボジア/Cambodia
- ▶ シンガポール/Singapore
- ▶ タイ/Thailand
- ▶ ベトナム/Vietnam
- ▶ マレーシア/Malaysia
- ▶ 台湾/Taiwan
- ▶ 韓国/Korea

ブックマーク

学校法人 日本写真芸術専門学校 NIPPON PHOTOGRAPHY INSTITUTE



OLYMPUS STYLUS XZ-2



海外フォトフィールドワーク WeBlog

Blog

Just The Way You Are

Petaling Jayaなーう

[Tweet](#)

[Check](#)

白状します。*(´ω´)。ウワワ

コタキナリで友人らと過ごす日々が楽しくて刺激的すぎて...
つついブログの更新が滞ってしまいました(*´ω´)(´ω´*)



とゆーわけで...

I am back in Malay Peninsula now :)



It's been raining here every night since I arrived in Kuala Lumpur...





私たちがクアラルンプールに到着する前は
深刻な水不足で給水制限措置を受ける地域は徐々に広がっていたのですが...

なのに、なのに...
今は毎晩雨が降っています。

絶対に雨女と雨男がいる！
海外へ出奔するには必ずと言っていいほど雨を降らす人がいる！

誰だ-----！！

はいっ、
現在久しぶりにこのメンバーでの共同生活をしながらスクーリングに向けての準備の真っ最中です(*´ω´*)

preparing for the classes...



Tired... (._.) (!) (. -) (: !) (_)
コタキナバリへ脳内移動して暫し休憩。

コタキナバリらぶ♡



よし！
もう一踏ん張り(*´ω`*)

日々こうして学べていることに感謝して...
この幸せをかみしめながら作業を続行しようと思います♡

明日の夜には先生方が日本からクアラルンプールに到着します。

I can't wait to see my teachers tomorrow :)

明日も絶対いい日です。
Don't Worry, Be Happy♡♡♡



カテゴリ: [マレーシア / Malaysia](#)
post by 境 瑞貴 | 日時: 2013.05.31 | [パーマリンク](#) | [トラックバック \(0\)](#)

🇲🇾 ボルネオ島

[Tweet](#)

[Check](#)

ここまでは孤児院での撮影取材が続きましたが、
マレーシアではボルネオ島のフィリピン人の移民問題と子どもたちの生活に焦点を当てています。



半年以上の基礎作りの上で...
やっと訪れることのできたコタキナバルのヌンバック村とリカス地区の不法移民が占拠しているコミュニティー。

メータオクリニック滞在とも繋がっていて
何かに導かれているかのような感覚にすら陥ります。

コタキナバルでの撮影取材では、
5人のマレーシア人の友人らが強気にバックアップをして協力してくれています。

本当に心強いです。





彼らとの対話の中で、
腹を据えて何かに取り組んで…
そのことに対して愛情と責任と覚悟を持つことの美しさを改めて学んでいます。



そして、
コタキナバリでぐんぐんぐん英語伸びてます(*´・ω´)♪

秀才たちと毎日のよーに…
政治の話とか歴史の話とか世界情勢の話とか移民の話とか教育の話とか宗教の話とか民族の話とか人生観についての話とか産業の話とか将来の話とかボランティアの話とか経済の話とか時事問題について語ってます。

マレーシアの
英語教育のレベルの高さに脱帽…

年齢も変わらないのにすごい！
幼い頃からの教育の大切さを痛感。

学力やスキルだけでは量ることのできない
人間としての深い魅力を彼らから感じています。

教養ある人間とはこういう人たちのことを言うんだなーって思いながらいろいろな話をしています。

洗練された会話や身のこなしはもちろん、
冗談すらも博識だからその質で…笑いながらも感嘆の連続です。

例えば…
2013年2月12日にフィリピンの武装勢力がマレーシア・サバ州東海岸のラハ・ダトゥ地区に侵入して同地区の村を占拠する事件が発生したのですが…その詳しい話やバックグラウンドについても語りました。

マレーシア治安部隊と武装勢力が衝突して銃撃戦で死者も出ていて今でもその状況は続いています。

この出来事一つを深く知るとしても…
歴史を知っているかどうかで見えてくるものも全然違う。

コタキナバリでの撮影取材はフィリピンからの不法移民の人たちについてなのでとてもセンシティブな時期でもありません。

移民に対する地元民の意見は様々だし、
今回のテロでもまた変化があるように思う。

同じマレーシアでも...
マレー半島南部とボルネオ島北部では移民への認識も全く違います。

本当に楽しくてたまりません。
もっともっと学びたいです(*´ω`*)

日々吸収することが多すぎて
頭の整理が正直なところ追いついていない...



出逢いに恵まれてて幸せ♡

本当に本当にたくさんに人の愛でこの旅は成り立っているんだなーって実感。

大切な友人らが日本に来てくれた時には、
持てる力全てを出し切って燃え尽き症候群になるくらいの精神力でおもてなしたって心から毎日思っています。

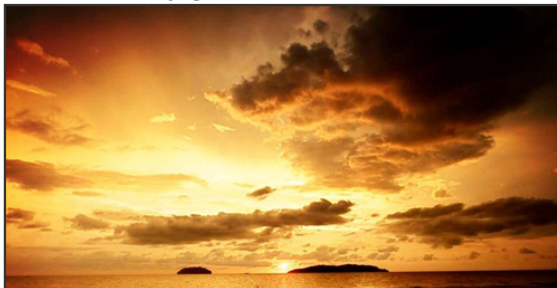
【速報】

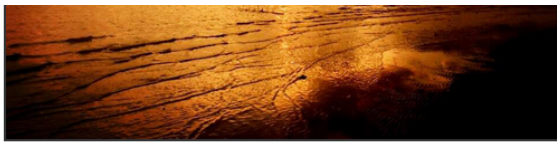
みんなが心からのおもてなしをしてくれ過ぎてKKで休養日は確保できません！という嬉しい悲鳴...

この一瞬一瞬の感覚を忘れたくない

出逢いで人は変わる。

Beautiful Sunset at Tanjung Aru Beach





p.s.
人間の脳ってすごいな。
自分の奥深くに蓄えられている英単語に驚いてる。

次から次へと長らく使っていなかったテクニカルでアカデミックな言葉が口からポロポロって出てきて自分でも感動。

カテゴリ: [マレーシア/Malaysia](#)
post by 境 瑞貴 | 日時: 2013.05.23 | [パーマリンク](#) | [トラックバック\(0\)](#)

📷 六カ国目

[Tweet](#)

[Check](#)

約八ヶ月ぶりのマレーシア♡

見覚えのある文字やバス、懐かしい香り…
二年生の時のFW海外研修で大好きになった国・マレーシアにやっと帰ってきました。

そして！！
今日で日本を出発してからちょうど2ヶ月です(*´・ω´)♪

あっとゆう間だけど、
毎日がとっても充実していて中身のぎっしり詰まった2ヶ月間。

.....



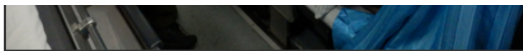


タイのバンコクからマレーシアのパタワースまで寝台列車に揺られること20時間。



車掌さんがシートをベットにしてくれます。
あまりの手際の良さにめちゃくちゃ感動しました。





そう言えば、
バンコクではワットポーへ。
ワット・プラチエートウボンウィモンマンカラーム=ラーチャウォーラマハーウィハーン



寝釈迦仏を見ていました。



英語名がReclining Buddhaってことについ爆笑w...



めっちゃ寝ておりました。





そして....
まさかりクライニングブッタにタイとマレーシアの国境でも再会できるとは！！！！



こちらのブッタには
ご利益はなさそうですが。



夜はぐっすり





二度目の陸路での国境越え！



そんな訳で…
パタワース到着後はフェリーに乗ってペナン島へやってきました。

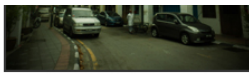


宿探し



散策





ごちそうさまでした♡
空腹過ぎて何食べたか写真を撮らずじまいというよくあるパターンです。



マレーシアにはスクーリングを含めて3週間滞在します。
今回はどんな出逢いと日々が待っているのか今から楽しみ(*´ω`*)

ああ…
毎日が幸せでたまりません♡♡♡

カテゴリ: [マレーシア/Malaysia](#)
post by 境 瑞典 | 日時: 2013.05.18 | [パーマリンク](#) | [トラックバック \(0\)](#)

📷 メータオ・クリニック

[Tweet](#)

[Check](#)

私事ではありますが…
日々生きている中で縁や巡り合わせやタイミング等
自分と何かがシンクロする感覚を信じるようにしながら生活しています。

運命なのか偶然なのかはたまたま必然なのか。
直感でピピッとくる時の衝動を大切にしています。

今回のメーソート滞在も…
そんな運命的なものを感じて決めました。

二年生の時に授業の一環としてプランニングというものがあり、
実際にFWが始まってから訪れる街やその意味などを自分自身の中で詰めていく作業です。

ちょうどプランニングをしている時期に、
6期生で孤児院で撮影をしていた原さんとFW会合なるものを開催し、色々な話をしたことがありました。

実は、
今回訪れた孤児院は彼女から紹介してもらった場所なのです。
彼女の写真を見せてもらったり経験を聞いていると、とても素敵なお場所だなーと思い是非行ってみたいという気持ち
自分の中で大きくなっていきました。

それと時を同じくして、
ボランティア活動を陸前高田市でさせてもらったことをきっかけにして今でも親好のある日本財団の富永さんから食事
に誘っていただきました。

三人の職員の方と一緒に寿司をいただいたのですが(((めっちゃ余談))),
皆さんがFWや私の企画に興味を持ってくださってアドバイスをしてくれていたのです。

そんな中で、
タイに行くのなら！と紹介していただいた場所があります。

しかし、
「バンコクから遠く離れた場所なので多分行くのは無理かなーと思うんだけど」と言う前置きの元、
ミャンマーとの国境が続くタイ北西部の小さな街・メーソートで祖国を追われ暮らす多くのビルマの人々に医療を提供し続ける国境の診療所があると教えていただきました。

その場%E

カテゴリ：[タイ/Thailand](#)
post by 境 瑞貴 | 日時: 2013.05.14 | [バーマリンク](#)

Safe Haven Orphanage

[Tweet](#)

[Check](#)

同じように笑って
同じようにご飯を食べて
同じように歌って
同じようにハニカんで
同じように眠って
同じように汗をかいて
同じようにふざけて
同じように泣いて
同じように寂しくなって
同じように恋をして
同じように冗談を言って

どんなに遠く離れた場所に生まれたとしても同じ人間なんだ。

ずごく当たり前のことなのに、
一緒に生活しているこの感覚が不思議でたまらない…



まるで夢のような
不思議な一週間をSafe Haven Orphanageで過ごしてきました。



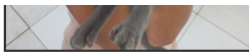
生まれた国も違い、
育った環境も全く違う。





なのに…
こんなにも通じ合える。





そんなことを思いながら、
見上げた夜空の星が今までに見たことのないほどの輝きで…
本当に本当にここにきてみんなに出逢えてよかったと空を見上げながら心から思いました。

ここには64人の子どもが生活しています。



いろいろなバックグラウンドが融合しているために…
タイ語、カレン語、英語、ミャンマー語が飛び交い興味深かったです。

今は、学校が夏の長期休みということで半数以上の子どもが親元や親戚の所へ一時的に帰っていました。

私にとっても子どもたちにとっても変則的で…
どこか特別な一週間だったのではないかと感じています。



これまで訪れた孤児院に比べると…
暮らしている子どもたちの年齢層も高く、
今回は一緒に遊びながらコミュニケーションをとるというよりも対話を通して関係を築いていきました。



いままで…
本当に様々な環境の元に生まれた子どもたちと一緒に時間を過ごしてきました。

ある姉弟がいて…
目の前で義理の父に母親を殺されるのを見てしまい今でも精神的に異常が残っています。

帰る場所なんてここしかないのに、
長期の休みに入ると…親元に帰る子達と一緒に帰省のための身支度をします。

"どこに帰るの?"
…と聞くと、困ったように"分からない"と答える。

二人のぬくもりが今でも残っています…





ある女の子は…
生まれたその日に捨てられて病院に置き去りにされました。

両親のことは何もわからない。
母親が妊娠中にお腹の子を破壊しようとしたり薬を大量摂取したであろう後遺症が少し残っています。

そんな彼女は
今はたくさんの愛情を注がれながら愛らしい少女へと成長している。

生い立ちを聞いた直後に…
"一緒に来て"と彼女に手を引かれて向かった先は教会でした。

ぎゅーっと手を握りながら
一生懸命に歌う姿を見ていると胸が苦しくなりつつも愛おしくてしかたがなかった。



この世に生まれてきてくれてありがとうと強く思っていました。

無責任なのはわかっている。

けれど…
これからも生き抜いて欲しい。

一人一人が遅く生きている。

愛し合いながら生きている。

いくつもの輝く瞳と出逢ってきた…

少しずつ、
でも確実に…
自分の土台が回ってきているのを感じます。

自分の生きていた世界の狭さを実感した一週間。

…と同時に、
世の中の距離感の変化を感慨深く感じた日々。

最後の夜は、
毎日見上げた夜空の星の美しさを自分の目と心に焼き付けたくて…もう一度だけ外に出た。

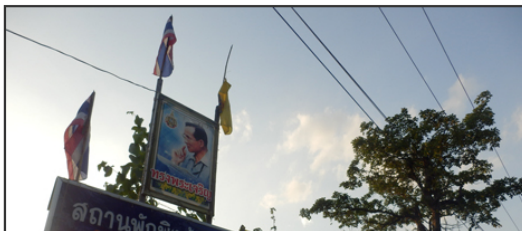
いつものごとく…
全くまとまりませんが今日はこの辺で。



ขอบคุณ มาก ครับ



明日もきっといい日です。





カテゴリー: [タイ/Thailand](#)
post by 境 瑞貴 | 日時: 2013.05.12 | [パーマリンク](#) | [トラックバック \(0\)](#)

📍 メーソート

[Tweet](#)

[Check](#)

タイ、ミャンマー、イスラム、山岳少数民族etc...
多くの文化を持つ人々が共存する山間の街“メーソート”

ミャンマーの国境までわずか4キロの所にあるメーソートという街にいます。

今日は、
バンコクの指定泊のBANGKOK CENTRE HOTELのすぐ近くにあるフワンポン駅からドンムアン空港までバスで行きました(｡◕ˇˇ◕｡)

基本的には公共交通機関を毎回使用するようになっています。

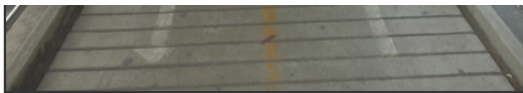
29番バスで1時間(◕ˇˇ◕)
9:55amに出発して10:55amにつくという完璧さ！

ただし、今回はスムーズに到着しましたがバンコクは交通渋滞が半端じゃないので2時間とかかかってしまう場合もあるので利用の際は早めの行動をおすすめします！



なんとお値段20THB!!!!!!!!!!!!!!
タクシーで空港まで行くと20倍以上の値段はかかります。





外は36℃で...暑いです!



NOK AIRを利用しました(^・Θ・^)



優雅に空港で昼食



飛行機いっぱい胸いっぱい♡

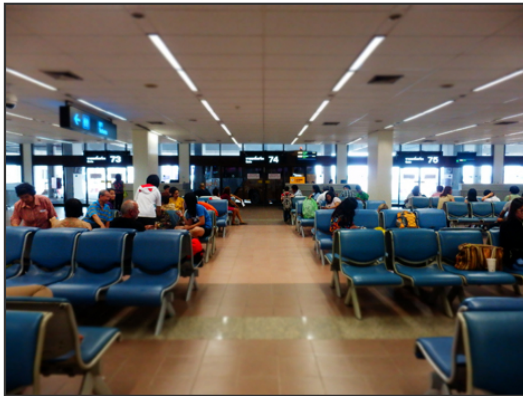




サワディカー



わくわくわくわく



か、か、かわいい♡♡





ぶぶ



んん-(*´ω`*)



飛



行



機



到着！

短ッ！！！！
bagage claim areaの全貌。
めちゃくちゃコンパクトで愛くるしい空港です。



そんなわけで、
現在はQueen Palace Hotelにいます(*´・ω´)

移動で節約した分をホテル代に回すスタイル♡
タイでの撮影取材に向けてゆっくりと休めます(*´▽`*)



明日は、
ここからまた2時間ほどバスに揺られて孤児院へ向かいます。

1週間ほどネット環境なしの場所に滞在です！

~~~~~



ブログの更新はもろろん、  
TwitterもFacebookからも消えますが...  
元気に生きているはずなので心配しないでくださいな(●´ω`●)ゞI♡

カテゴリ: [タイ/Thailand](#)  
post by 境 瑞貴 | 日時: 2013.05.04 | [パーマリンク](#) | [トラックバック \(0\)](#)

## 📷 五カ国目

[Tweet](#)

[Check](#)

กรุงเทพมหานคร อมรรัตนโกสินทร์ มหินทรายุธยา มหาดิลกภพ นพรัตนราชธานีบูรีรมย์ อุดมราชนิเวศน์มหาสถาน อมรพิมานอวตารสถิต สักกะทัตติยวิษณุกรรมประสิทธิ์

クルンテープマハナコーンアモンラッタナコーシン・マヒンタラアユッタヤー・マハーディロッカポップ・ノッパラ  
ッタナラーチャタニーブリーロム・ウドンラーチャニウチェットマハーサターン・アモンラピーンアワターンサティ  
ット・サッカタットティアウィサヌカムปราสิット

Krungthepmahanakhon Amonrattanakosin Mahintharayuthaya Mahadilokphop Noppharatratchathaniburirom-  
Udomratchaniwetmahasathan Amorphimanawatansathit Sakkathatiyawitsanukamprasit

要は...  
バンコクなーう！



カテゴリ: [タイ/Thailand](#)  
post by 境 瑞貴 | 日時: 2013.05.03 | [パーマリンク](#) | [トラックバック \(0\)](#)

## 📷 同情するなら金をくれ

[Tweet](#)

[Check](#)

正直に言います。

カンボジアでは  
孤児院の運営も観光業化しているのが現状です。

寄付を求めてどんどん孤児院が増えているのです。

この国には年間300万人の観光客がきて、  
その3%の10万人が寄付をしていくと言われています。

そのため...  
孤児院を閉くことは合理的で、  
運営費もスタッフの給料も寄付金からまかなわれるのです。

そして、  
そんな時代の流れに乗れないと...  
Bridges Cambodia Internationalのように厳しい現実という大きな壁と立ち向かわなければならなくなるのです。





今回訪れた孤児院はベトナムの孤児院と違いました。

BCIには27人の子どもがいます。  
個人的な印象としては少人数なので一人一人がより見えてくるというものでした。

ブログにも以前書いた通り、  
Que Huong Charity Centerはテレビでも紹介されているほど有名で訪問者が後を絶たず、支援者も次から次へと増えています。

孤児院経営において寄付金が"充分"足りているという状態は現実では存在しないのかもしれませんが。

しかし、  
BCIは明らかに資金が不足しています。



現にこれまでも何度も閉鎖の危機を乗り越えてきました。

去年の6月もそんな時期を迎えていました。

BCIが閉鎖してしまうと、  
子どもたちは元の環境に戻らなくてはならず…  
学校に通ったり学ぶことができなかったり、ご飯が食べられなかったり、親からの暴力、売春への恐怖から怯える日々が待ち受けているのです。



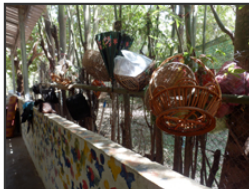


その時はアメリカからきていたボランティアがソーシャルネットワーキングシステムを使いBCIの抱えている問題を世界中に広め寄付が集まり一時的には難を逃れることができました。

けれど、継続的な支援を受けられるわけではありません。

実際問題として…  
愛情だけではだめなのです。

Bridges Cambodia Internationalの子どもたちとQue Huong Charity Centerの子どもたちとの求めているものは違うのかもしれない。



あたりまえのことですが、  
それぞれの環境によって課題があることを思い知りました。







一説によると、膨大な数にふくれあがったシムリアップにある孤児院の数を減らしもっと一人一人のことを考えた孤児院運営を目指そうという運動もあるそうです。

街ではたくさんの募金箱を見かけます。ここまで多くの孤児院があると、一種のプロモーションの巧さも孤児院の未来に繋がってきます。

やはり、有名な孤児院にほど寄付金や訪問者は集まるのではないのでしょうか。

安直な人間心理とはそんなものです。

ごめんなさい、言葉が少し過激だったかもしれません。

しかし、孤児院の子どもたちに寄付をしたいという気持ちがあってもどこにどうやってこの気持ちを伝えればいいのかと思ったら、やはりよく知られていたりする孤児院にお金や物資が集まっていくのではないのでしょうか。

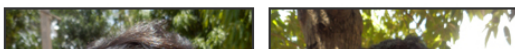
そして、そこでまた格差が広がります。



孤児院にも観光客が来るシーズンというのがあります。

その時は、BCIも寄付金を少しでも多くもらうための演出をします。

多くの訪問者が求めている…  
"過酷な環境に生まれ、貧しい生活の中でも笑顔を絶やさず力強く生きている子どもたち"を演じるのです。





子ども一人に食費など諸々が年間5万円かかるとして年間必要なのは最低でも約150万円。

例えば、

近くには無料の子ども病院はありますが、  
病状が重い場合などにはそれなりに費用もかかってくるのです。

私の前では演じることなく素ですわ、完全に。笑



Mellisaというニュージーランド出身で現在はシエムリアップに住んでいる美しい女性に出逢いました。

子どもたちと一緒に様々なアクティビティをしたり、少しでもいい食材を口にすることができるようにと冷蔵庫の寄付や、安全面を考慮フェンスの取り付け工事など様々な支援を彼女はしています。

彼女はBCIの子どもたちは自分にとって  
家族のようなものだと話してくれました。

フェンスの工事の様子



今回のBCI滞在中に、  
バンクーバーで学生をしていたときの友人の言葉を強く噛み締めました。

その友人は自分よりも8歳年上の韓国人の女性でビジネスを専攻していました。  
当時自分は社会学を専攻していました。

ある日、Tae-Eonは何故Mizukiは社会学を専攻しているのか？と質問を投げかけてきました。

"少しでも多くの人役に立つために世界の出来事や構造を知り、お金なんていらぬから無償の愛情を届けたい"みたいなことをうろ覚えですが、話した記憶があります...

その時に彼女は、  
"Mizuki、その気持ちは大切だけど、お金がないとその想いを実現することはできないだよ"といました。

そして、なぜ彼女がビジネスを専攻しお金を儲けようとしているのかを話してくれました。  
彼女は将来は親のいない子どもを引き取り、自分の子どもとして育てていきたいという考えを持っていました。そのためには愛情はもちろんのこと資金面の基盤も整えておかなければその子どもの未来まで責任を持ってないのではないかと。

衝撃を受けました。  
まさにその通りだと思いました。

まだ10代で世間のことを何も知らない自分は綺麗事の中で生きていました。  
しかし、その話を彼女から聞いた日から自分の考え方も変わり今に繋がっています。

お金は、  
決して汚いものなんかではないのです。

.....

日々一緒に時間を過ごしていくうちに  
様々な厳しい現状やこれからの課題が見えてきました。



それでも...  
BCI はとてもゆっくりとした気持ちのいい風が吹く場所でした。





お隣のお家の子どももHello!と遊びにきてくれたり。  
Helloって100回くらい言われました。Hello! Hello!b Hello! Hello!



最年少5歳のRatha  
お兄ちゃんたちの真似してやたら格好つけたポーズをしてきて可愛いすぎる!



ベトナムとカンボジアで訪れた孤児院は都市部から離れているとはいえ、少し移動すれば大都市にも行くことのできる場所にありました。

しかし、  
タイではミャンマーとの国境付近のジャングルの中にある孤児院にて1週間泊まり込みで撮影取材をしてるので、また違った孤児院の側面が見えてくるのではないかと思います。



カンボジアでの撮影取材は...  
ベトナムの時に比べるとより具体的な視点で現状に踏み込むことができました。

感情論だけではなく現実を見つめる努力を続けていきたいです。

帰ろうとすると...  
一緒に行く！と言ってトゥクトゥクに乗り込んでくる。笑



見えなくなるまで手を振ってお見送りをしてくれました。

Hi hi hi♡

カテゴリ: [カンボジア/Cambodia](#)  
post by 境 瑞貴 | 日時: 2013.05.01 | [パーマリンク](#) | [トラックバック \(0\)](#)

▲ Pagetop